

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2015-16年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー

東 良輝

GOVERNOR : Yoshiki Azuma
UBE WEST ROTARY CLUB

「ガバナー年度を終えるにあたり」

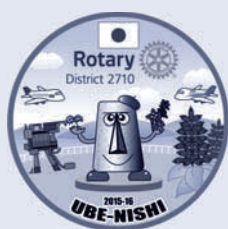
RI2710地のロータリアンの皆さま、今年度のガバナー月信が今回で最後になりました。

昨年7月にスタートしました私のガバナー年度もこの6月30日をもって、何とか無事、終わることが出来ました。これもひとえにパストガバナー、ガバナー補佐の皆さまをはじめ、地区全ロータリアンの皆さまのご協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

さて、2013年10月突然ガバナーノミニーとして指名された時はロータリーについて右も左も全く分からない私にとりましてはまさしく「青天の霹靂」でありました。唯々、戸惑うばかりでございましたが、幸いにして優秀な地区役員に恵まれ、昨年7月1日RI2710地区ガバナーとしての何とかスタートを切ることが出来ました。私はガバナー信条として「ロータリーの原点に立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう」を掲げ、今年度の地区の運営に携わってまいりました。近年、ロータリーは急速な勢いで改革が進んでおります。今年3月に開かれました規定審議会では当地区から諏訪パ

ストガバナーが地区の代表として出席され、その結果は地区研修・協議会の前に開催された諮問委員会において、報告を受けましたが、私の印象では、90度くらいの角度で大きく舵を切られたような印象を受けております。ポール・ハリスの言葉にもロータリーが発展するためには「時には革命的な改革も必要」とも述べられてもいますが、ロータリーの素晴らしい伝統をも見失ってしまいかねない、改革は如何なものかとの思いから、この度、皆様に問いかけましたガバナー信条は、1度過去を見つめ直し、「変えなければならないもの」と「変えてはいけないもの」をしっかりと見つめ直す必要があると感じたからです。公式訪問でも皆様方にお伝えしましたが、「ロータリーの原点」とはロータリーが創立されたときの精神即ちロータリーの心であると信じています。

ロータリー1905年ポール・ハリスを中心に4人の職業人で創立されましたことは皆様よくご存じの通りです。20世紀の初頭、荒廃したシカゴの街において、志を高く持った職業人が強い精神力で砂漠の真ん中に「オアシス」を築こうと試みたことは当然と言えば当然のことと思われます。まずは会員間の「親睦」であり、もう1つは、少なくとも会員が職業人として高潔、公正であることを誓い、さらなる「職業倫理の向上」に努力したものと想像されます。私はこのロータリーの原点はポールの生い立ちにあったと確信しております。ポールは清教徒の住むニューイングランドの祖父の家で育ちます。そこでの素朴で信仰の篤い清教徒に(P2へつづく)



CONTENTS

[ガバナー月信 2016年7月号]

ガバナーメッセージ	1	米山記念奨学会委員長のご挨拶	10
各グループガバナー補佐退任のご挨拶	2~7	ロータリー財団委員長退任のご挨拶	10
地区代表幹事退任のご挨拶	8	会員増減・出席率	11
広報委員長退任のご挨拶	8	新会員紹介/物故者への哀悼	12
会員増強委員長退任のご挨拶	9	月信編集委員長後記	12
奉仕プロジェクト委員長退任のご挨拶	9		



(表紙より) 囲まれての生活はポールのその後の人格形成に大きな影響を及ぼしたものと思われます。

また、ポールは弁護士の資格を得た後も先輩からのアドバイスを受け、アメリカ、ヨーロッパの各地を放浪することになります(5年間の愚行)。各地では生活のため、いろいろな職業に就きながら放浪します。果樹園の労務者、干しブドウの包装、カレッジの講師、新聞記者、カーボーイ等数々の職業につきまします。この5年間の愚行を通して、如何なる職業も全て価値あるものと身をもって体験したこの経験から「1業種1会員」の概念が生まれたものと私なりにかってに想像しております。

その後、ロータリーが全米はもちろんのこと世界に羽ばたくきっかけとなったのは、アーサー・フレデリック・シェルドンがシカゴクラブへ入会し、彼によって職業奉仕の概念が確立された1908年であったと思っています。今年度、私は各ロータリークラブが

発展してゆくためには各クラブにおいて「戦略委員会」を設置して、それぞれのクラブの「戦略計画」を立てて頂くようお願いしました。3年先、5年先、10年先の我がクラブはこのように発展していると想像するだけで心が爽やかになります。

そのためには全員参加でしっかりと議論を行うことです。福沢諭吉の「学問のすすめ」に「学問の要は活用の一点に尽きます。活用なき学問は無学に等しいのです」とあります。ロータリーもロータリーで学び、議論し、これを実践することにあります。

RI2710地区ロータリアンにおかれましては今後とも「戦略計画委員会」等でクラブが進むべき道をしっかりと議論して頂き、クラブの発展に繋がるよう努力して頂きたいと切にお願いする次第です。この1年間大変お世話になりました。ガバナーとして至らぬ点が多々ありましたが、ロータリーの友情に免じてお許しください。有難うございました。

補佐の仕事を教わり、少しずつわかるようになりました。

2015年5月よりグループ2の萩・宇部西・小野田・萩・宇部東・宇部・美祢の7クラブを訪問しましたが、最初の頃は戸惑いと不安でいっぱいでしたが、会長や幹事さんをはじめ、会員の皆さまの温かいおもてなしと友情によりリラックスすることができました。

公式訪問のフォーラムでは、クラブの現状・奉仕活動の実践について討議され、ガバナーより適切な助言・コメントをいただき、有意義な時間を過ごしました。このクラブ訪問を通じて各クラブの歴史と伝統を

学ばせていただくとともに、各クラブともそれぞれの特色を大切に、その特色を生かすクラブ運営をされていることに感銘を受けました。

全体的に見て、多くのロータリアンに出会える機会をいただき、またクラブを越えた仲間ができたことに感銘を受けました。

ガバナーをはじめ、グループ2の皆さま、また私を支えてくださいました補佐幹事の皆さま、そして今会いした全ての皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。



ロータリアンであり続ける事

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ3ガバナー補佐 藤田 育夫

ガバナー補佐という大任を仰せつかったから、実質的には一昨年12月より始まり、凡そ1年半が経ちました。小生現在56歳ですが、おそらく私の様な若輩者がこうした役職を全うする事は珍しいかと存じます。本年の東ガバナーのテーマが「ロータリーの原点に立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう」でした。私にとってこのテーマは、ロータリアンである事を基礎から勉強する、本当に良い機会であったかと存じます。ロータリーの基本は職業奉仕です。私は商道徳における4つのテストを常に自身に問いかけ続けました。それは仕事を通じて社会と関わりを持ちながら、しっかりと暖簾を守り、かつ人材育成に勤しみ、自らの生活を支えて家族を守り、関係する全ての人に公正に、そして利益を齎せなければならない。そしてそれを満たした上で、周りの環境を見渡し、自らが出来る事を考え、社会奉仕活動として実践しなさい、という事です。つまりそれはI serveであり、その集まりがロータリアンであると、私なりに理解をする事が出来た様に思います。考えれば考える程、ロータリアンであり続ける事に大きな重圧感を感じる様にもなりまし、同時にそれは矜持を持つ事にも繋がると痛感

いたしました。

また、ガバナー補佐という役職を通して、多くの素晴らしいロータリアンとお会いする機会を得る事が出来ました。私にとっては、殆ど全ての方々が人生の先輩にあたり、皆さん職業奉仕において立派な業績を残しておられ、その上でしっかりと社会奉仕活動をされておられました。考えてみればロータリアンとして当然なのかもしれませんが、やはり私には尊敬に値する方々ばかりで、これからの人生において大きな目標とさせて頂く事が出来ました。また、様々な立場の方がおいでになり、それぞれに輝くものを持っておられ、多様性を理解するという言葉の意味も実感する事が出来ました。

“ロータリアンであり続ける事”は容易ではない事だと思いますが、同時に自己研鑽も含め、やりがいのある人生を送れる事だとも思います。ガバナー補佐を経験してそれがよく分かりました。今は感謝をしていると共に、これからもしっかりと活動をしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



年寄りの冷や水

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ1ガバナー補佐 水野 直房

ガバナー補佐という名誉あるお役目が、こんなに大変なもという自覚もなしに、お引き受けしたのが運の尽き。その役職が会長経験者という条件付きでの拜命だった。しかも八十歳という高齢である。しかし、私は何と言う仕合せ者だろう。山口拓志会長を中心とするクラブの全会員がフォローして下さった。とりわけ会長エレクトの指名を受けた、活田敬三会員をガバナー補佐幹事として付けていただいたことは、まさに百人力。ほとんど彼にガバナー補佐を“補佐”という有様。何と前後四回もグループ1のクラブ訪問をしなければならないこと、その上、インターシティ・ミーティング(IM)を主宰しなくてはならぬ!という大命である。エッそれってナニ?と勉強する間もあらばこそ、すかさず山口会長から安倍昭恵様を講師に

とのこと、何しろ総理夫人、ミャンマーの子供たちについてお話をいただくとの提言に私は大賛成、総理主催の観桜会で早々御内諾を得、潜水艦よろしく水面下をひた走ったが、年が明けるや伊勢志摩サミットのご公務が入ってしまい、ならば然るべき講師のご推薦を…と厚かましいお願いまで申し上げ、お迎えしたジャパンハートの吉岡春菜ドクターのミャンマー奥地小児医療の情熱あふれる報告に、参加者全会員の感動の涙で大成功!何しろ企画から実施までのスクラムの何と強かったことか。お蔭様で私はこの一年「何卒よろしく!」で大任を全うすることが出来ました。ただしこれからのガバナー補佐は、七十歳定年で推薦して下さるようお願いを申し上げます。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 G2ガバナー補佐 翁林 武雄

ガバナー補佐の任命を受けAGの役目をあまり理解できないままの就任でした。過ぎてみればあつとい

う間の一年でした。RLI、DL研修、PETS、地区協議会に出席し、ガバナー

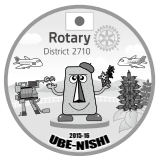


ガバナー補佐退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ4ガバナー補佐 神田 忠二郎

あつという間の1年半でした。折角の機会ですのでEnjoy Rotaryの精神でと思ってガバナー補佐の役割を

お引き受けしましたが、日程をこなすのがやっとの状況でした。ロータリー歴だけは長く何とかなると思っ



ていましたが、思うようには行きませんでした。特に、想定外であったのが、RLI分科会のディスカッションリーダーの役割でした。「RLIて何ですか」から始めたのが実情で、国際ロータリーとロータリー財団との関係等もう一度勉強させて頂きました。

今年度が始まってすぐは、各クラブへの補佐訪問、ガバナー公式訪問の準備等何かと忙しく、私個人の業務もありあたふたとした毎日でした。訪問時のまとめ、ガバナー事務所への報告等、補佐幹事の強力な補佐が無ければとても無理だったと思います。補佐の役目でありIMの開催については、補佐として最高に Enjoyできると考え、構想は色々練るものの日にちばかりか過ぎてゆき、最後は講師に合わせて青少年奉仕をテーマとした次第でした。IM実行委員長、実行

委員の皆様のおかげで何とか形ができたようなものです。年度終わりの各クラブへの訪問時にはIMは成功裏に終了致しましたと述べましたが、実態はIM実行委員及び出席頂いた会員皆様のおかげということ

です。ガバナー補佐の役割はガバナーとクラブの連絡調整役ですが、今年度特別なことはありませんでした。ガバナーからすれば何もしてくれなかったということかもしれませんが、私個人としては、いい加減の1年間でした。グループ4の会員皆様にとって良い加減の1年間であれば幸いです。とにかく無事補佐任期を終えることが出来そうです。皆様方に感謝申し上げます。有り難うございました。

2015年7月1日からグループ内のクラブ訪問、ガバナー公式訪問準備のクラブ協議会、ガバナー公式訪問をさせていただきました。各クラブの会長・幹事をはじめ会員の皆様には暖かく迎えていただくとともに、各クラブの理念や活動について学ばせていただきました。会員の増強や親睦、ロータリーの理解推進、職業奉仕の研鑽、社会奉仕や国際奉仕への参画など、個々のクラブが歴史の中で多くの会員によって築き育んでこられ、クラブに最も合った運営をされていると感じました。グループ6・7合同のインターシティミーティングでは、グループ7の中村ガバナー補佐が

所属する広島西ロータリークラブをホストに 広島

のロータリアンが発信する「奉仕を通じて平和を」一被爆70周年の節目によせて一 をテーマに開催し、ロータリアンとして平和について考え学ばせていただきました。ガバナー補佐として、多くのロータリアンとのご縁と、多くのことを学ぶ機会を与えていただきありがとうございました。補佐幹事の瀬川さん、地区事務局やクラブの事務局員さんをはじめご協力いただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ5ガバナー補佐 西本 守利

早いものでもう初夏の季節となりました。この一年間を目を瞑って振り返ってみますと色々な出来事が走馬灯のように浮かんで消えまた浮かんで消えて行きます。一昨年の10月から始まった東ガバナー年度第一回目のガバナー補佐研修会に病欠し最初から転けたスタートでしたが、何とかRLIのディスカッションリーダーを務めてロータリーと何ぞやを再認識して昨年の7月を迎えた次第でした。7月以降グループ5各クラブへのガバナー補佐訪問、ガバナー訪問を合わせて既に4-5回は訪問させて頂きましたが訪問時の思い出は数限りなくありまして紙面の関係で割愛させて頂きます。訪問時に特にお願いさせて頂いた事は本年度から大きく変化したオンライン・ツールのロータリークラブ・セントラルの利用とマイアカウン

トの登録の件です。かなりしつこくお願いしたのでグループ5のクラブのマイアアカウント登録率もだいぶ上がった様に伺っております。もう一つは戦略計画の立案に付いてです。戦略計画委員会を設立して5年後10年後のクラブ像を具体的に検討立案して載きたい旨をお願いいたしました。それとソウルでの本年度国際大会参加の件ですがグループ5から15人の参加を戴きご協力有難うございました。ガバナー補佐の役割は地区と各クラブとのパイプ役になってガバナーを補佐する事が責務と考えてきましたがグループ5の各クラブは伝統と格式のあるクラブばかりで、この一年間逆に変えていただきました。この一年間本当に大変お世話になりました厚く御礼申し上げます。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ6ガバナー補佐 小川 嘉彦

早いもので、ガバナー補佐としての任期を終えることができました。これもロータリーの友情と寛容の心のお蔭と、グループ6内7クラブの会長をはじめロータリアンの皆様、感謝とお礼を申し上げます。

2014年7月にガバナー補佐に指名をされ、9月27日

の第1回ガバナー補佐会議から、研修会やRLIのディスカッションリーダー、PETSや地区研修・協議会などを通して東ガバナーをはじめ他のガバナー補佐や地区役員の皆様と親交を深めるとともに、補佐の職務について学ばせていただきました。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ7ガバナー補佐 中村 哲朗

2014年9月27日(土)午後2時からホテルグランヴィア広島で開催された第1回ガバナー補佐会議に出席し、これから始まる活動に対する不安感と緊張感を強く感じた一日でした。それから早や21ヵ月が過ぎようとしており、まさに「光陰矢のごとし」を現在実感しております。グループ7のガバナー補佐を務めさせて頂いたことで、言葉では言い尽くせない程多くのご支援を賜りましたし、多くのロータリアンの方々との対話を通じて沢山の知識を吸収できたこと、また私自身、粗末なロータリー知識に起因する試練等、いろいろな経験をさせて頂き感謝しております。

ガバナー補佐としてグループ内の7クラブを訪問し、ガバナー公式訪問の準備をいたしました際には、各クラブから丁寧な対応を頂き心より感謝申し上げます。グループ7の各クラブは、ロータリー活動を着実に推進されており、それぞれのクラブが特徴を持って運営をされていることに敬意を表します。

2016年2月28日に広島西RCがホストクラブとなり

開催したグループ6・7合同のインターシティミーティングでは、内容的に難しいテーマを選択しましたが、元RI会長田中作次様、広島市長松井一實様による基調講演、またパネリストを務めて頂いた在広ロータリアン4名の皆様方のご協力で何とか形にすることが出来たと思っております。ありがとうございました。また、多くの時間を割いて当日の準備をして頂いた広島西RC金本会長、香川IM実行委員長をはじめとする全ての会員から多大なるご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。また補佐幹事として黒子役を受けて頂きました齊藤昭一様にも厚く感謝申し上げます。

ガバナー補佐としてRI第2710地区の活動にどの程度お役に立つことが出来たのか大変不安に思っておりますが、東ガバナーの素晴らしい人間性と包容力に魅かれ、ご指導を受けながら活動が出来ましたことを誇りに思っております。大変お世話になりましたありがとうございました。

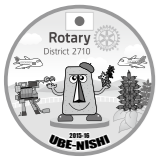


退任挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ8ガバナー補佐 土肥 慎二郎

私にとって長い一年がやっと終わろうとしています。東ガバナーをはじめ地区リーダーの皆様、グループ内の各クラブの会長・幹事をはじめ会員の皆様、そして私を後ろから支えて下さった東広島21RC会員のみな

さまに深く御礼を申し上げます。グループ内のクラブを訪問した時は、どのクラブも温かく迎えて下さり、またガバナー公式訪問でのクラブフォーラムにおいては、むしろ私の方が多くのこと



を学ばせていただいたような気が致します。

インターシティ・ミーティングでは「クラブの原点」というものを取り上げましたが、各クラブがこれまで培ってきた歴史と伝統、ロータリーに対する真摯な取り組みは素晴らしいものであり、これからのクラブのあるべき姿を再認識する良い機会となりました。また、歴史も浅く小人数ではありますが、私のクラブの会員の皆さんが団結力を発揮し、IMを無事乗り切る

ことができたことは私にとって最も喜びとするところでした。

それから個人的にも大きな出来事があり、地区内外の多くのロータリアンの皆様に温かい言葉をかけていただきました。

これら多くの善意の人たちとの出会いをいただいた、私にとって生涯忘れることのない年度になりました。本当にありがとうございました。

で容易にG7の仲間入りはできません。首都だけでなく国の隅々にまで、インテリジェントな良識人が存在する日本だからこそG7の模範たる国になれるのでしょう。

最近では第三セクターの事業や業界団体のお世話を

通して行政との接点も増え、「利他とは」「職業奉仕とは」……考えることが増えていますが、これもロータリアンだからこそ与えられた機会であり、その役割を果たすことの重さを噛みしめています。加えて一年間幹事をお願いした小川恭史氏に感謝します。



退任ご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ9ガバナー補佐 市川 重雄

2014年5月、2015～2016年度グループ9のガバナー補佐の拝命を受け約2年間緊張の日々でしたが終わりが近くなり安堵しているところです。この間弱輩の私をご引き立て頂いたグループ9各クラブ会長、幹事様をはじめ会員の皆様にも感謝とお礼を申し上げます。

2014年9月、第1回のガバナー補佐会議から始まり、種々の会議に出席させて頂きロータリー活動又自身のこれまでを省みる貴重な体験が出来ました。ロータリーを熟知した方のお話し、ロータリーを学ぼうとする方の姿を見て、自分の30年間のロータリー活動が何となく過ぎていた事に気付き、ロータリーを少しでも勉強しないとロータリアンの皆様に失礼と思ひロータリーの文献などに目を通し資料を基に下手

な卓話をさせて頂きましたがこれを真面目に聞いて下さったロータリアンの皆様に感謝の一念でいっばいです。

クラブ訪問をさせて頂いた時のもてなしも恐縮するばかりでした。指導する役目のガバナー補佐が皆様から多くのことを学ぶことができ、改めてロータリークラブの素晴らしさを感じた2年間でした。支えて頂いたグループ9会員の皆様、ホームクラブ竹原クラブの皆様に重ねて感謝申し上げます。

最後になりましたがガバナー東良輝様をはじめ地区役員の皆様、事務局の方々に大変お世話になり無事任務を終える事が出来ましたことお礼申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ11ガバナー補佐 徳永 雅俊

グループ10・11が、長年に渡って様々な事業を問題なく行ってこれているのは、その年度の当番クラブが、グループ10・11の親睦ゴルフ大会を開催し親睦を深め、また会長・幹事会を行い交流を深めるなどの役割をこなされて来たからだと思ひます。

その大切な橋渡しを、本年度、北会長をはじめとする福山西ロータリークラブの方々に行って頂きました。

そのお陰で、各クラブの会長・幹事の方々と信頼関係が構築出来ていた為、ガバナー補佐の大きな仕事である、ガバナー公式訪問も、東ガバナーとしっかりコミュニケーションが取れ、充実した内容の濃い公式訪問を行う事が出来たと思ひます。

また、IMにも多くのメンバーの方々にご参加頂き、更に親睦を深める事が出来ました。

昨年、ガバナー補佐としての最初のあいさつで、会長・幹事の皆さんに“東ガバナー年度に会長・幹事をやって良かったと言って頂ける様、全力で支えていき

ます”とあいさつさせて頂きましたが、逆に私自身が会長・幹事の皆さんから支えて頂き、ご協力頂いたお陰で、誰よりも私が東ガバナー年度に、ガバナー補佐を行う事が出来て良かったと思っております。本当にありがとうございました。

当初は、私の様な若輩者が、この様な大役がこなせるのかとても不安に感じておりましたが、東ガバナーをはじめ、宇部西ロータリークラブの方々、同期のガバナー補佐の方々、そしてグループ11の会長・幹事の皆さん、また陰で支えて頂いたグループ11の事務局の方々、そしてなにより私の右腕として一年間私を支えてくれた石井ガバナー補佐幹事にお礼申し上げます。

そしてグループ11の皆さんには心温まる多くの励ましの言葉を頂き、最後までやり遂げる事が出来ました。

心より感謝申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。

一年間ありがとうございました。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ10ガバナー補佐 晝田 眞三

ガバナー補佐をお受けしてグループ10の各クラブを各4回訪問する機会をいただき、我がクラブに所属しているだけでは見えないものを見せていただきました。就任以前はほとんどその機会はなく、若いころに所属していた団体の仲間から「うちのクラブはこうなんですよ…」と聞く程度でした。

各クラブそれぞれに個性があり、危機感があり、会長以下それぞれのやり方で取り組んでおられます。会長以下皆様の努力に敬意を表するとともに視野を広げるチャンスをいただいた幸運に感謝したいと思います。また地元高校出身ということで各クラブとも

多くの先輩・後輩と親しく懇談でき「冥土の土産の思い出作り」が出来たものと思ひます。

さてG7が日本で開催されました。外相会話は広島で、教育相会議は倉敷での開催でした。

小生の過去の体験からしますとG7に入る国は多くの領域で基本的な価値観を共有し、約束（法律とも言い換えられます）を守ることの重要性を認識し、実行している国です。そして加えて水道水が飲める国です。これは長い長い水道配管に異物を混入させない民度の高さの証明でしょう。これらの参加資格は新興国と呼ばれる国にとって結構、ハードルが高いもの



ガバナー補佐退任の挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ12ガバナー補佐 沖 東洋治

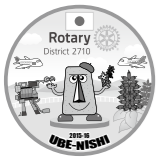
国際ロータリー第2710地区2015-2016年度グループ12のガバナー補佐の任を大過なく務めさせて頂きましたこと、グループ内の会長様、幹事様をはじめとするグループ内のロータリアンの皆様のお陰と心得ます。

私のロータリー感“楽しいロータリー”でありますので、任期前の第1回ガバナー補佐会議に召集されたころより、なにか最近のロータリーは難しくなりすぎているんじゃないかと感じ、ガバナー補佐を受けたことを後悔しながらも、ガバナー補佐の役目はガバナーの補佐をすることであり、私の思いをどうよう言

うことではなく、ガバナーの思いを伝えることと腹をくくった次第です。

そのうちに第2710地区内のガバナー補佐の皆様、地区役員の皆様と親しくお付き合いさせていただき、そして何よりもグループ12で“ガバナーエレクトを囲む会”を開催させていただいた折に、東ガバナーの飾らない人柄や本音で話されるお言葉に触れ、このガバナーは素晴らしい人だと感じました。

ご存知の通り、我がグループ12の5クラブは、どこも18人～41人程度の少人数クラブですので、会員拡大が必須課題ではありますが、それを上回る人口減少



という切実な悩みを持っております。

公式訪問前のクラブ協議会では、その問題にも真正面から向き合われる様子や、それゆえのジレンマを感じました。また、独自に地域起こし活動をされていること等をあらためて知りました。

公式訪問ではこのような悩みや、忌憚のない意見発表を受け、東ガバナーに適切なお答えをいただきました。

IMでは、開催テーマを“イノベーション・ロータリー、夢を求めて”—10年後の我がロータリークラブを考えよう！—とし、四つのテストに代表される変えなくてはならないロータリーの真髄と、不変であっては適

応できない時代の変化、また5クラブならでの共通する地域性を踏まえて、新しい切り口、新しい捉え方を考える場としました。

懇親会も小根森実行委員長自らのサクソ演奏や、西田篤史様と佐々木リョウ様の新譜の披露等、サプライズもあり大いに盛り上がりました。

最後になりましたが、東ガバナー、地区役員の皆様、グループ12のすべてのロータリアンの皆様、そして何よりの支えになっていただいた所属する三次中央ロータリークラブの会員諸兄に心より感謝申し上げます。

本当に一年間ありがとうございました。

にとの趣旨でした。

上記の具体的な事例発表は、年半ば頃からと伺っておりますが、今年度だけでなく、更に2～3年かけて充実・戦力化して行くものと考えます。

あらゆるものが多様化・複雑化して行くなかで、ロータリーがしっかりと地に足をつけて活動する為

には、市民の皆さんの認識や協力が、今後ますます必要になるでしょう。そのためにも、広報は必要不可欠なものとして重要度を増して行くでしょう。

皆様方の1年間のご支援・ご協力に心から感謝いたします。



一年を振り返って

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会 委員長 田中 敏夫

東ガバナーを支える為に依頼された委員会が会員増強委員会で、委員会の任期も3年と聞かされ不安な気持ちのまま引き受けました。研修セミナーの開催等、地区事務局の皆様には大変助けられた1年間でした。2015年3月22日に開催した地区チーム研修セミナーにて東ガバナーより増強部門の方針として①純増1人以上/クラブ②現会員の維持支援③新しいクラブの創設支援④小規模クラブへの支援⑤女性会員の増強対策⑥若い人々へのロータリーへの理解が提示され、2015年5月17日に広島国際会議場にて地区研修・協議会分科会テーマとして大之木精二カウンセラーに「増強はロータリアンとクラブの強化から」の演題にて講演を頂き、増強事例を2クラブに発表頂きました。

2015年8月23日の指導者育成セミナーには、大之木カウンセラーにモデレーターをお願いし4名のパネリストによる発表後にパネルディスカッションを開催し、質疑応答も開催しました。「こうすれば増強に成功する」「こうすれば会員維持に成果が上がる」「こうすれば若手会員が増える」「こうすれば女性会員が増える」と具体的なテーマで発表頂いたので会員増強に対する関心度も上がったように思います。このセミナーを通じて感じた事は、安満パストガバナーの講演で示唆頂いた40才未満の会員入会、女性会員入会について十分な議論が出来なかったことです。次年度に申し送りしたいと思えます。地区カウンセラーの皆様地区事務局の皆様心より感謝申し上げます。



代表幹事退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 兼広 三朗

宇部西RC初めてのガバナー輩出ということでクラブ、役員一丸となって支援しようということで会議を重ねました。全員が初めての経験で羅針盤のない航海となった訳ですがノミニ、エレクトと進んでいく中で色々なことを経験したり、見たり、聞いたりして少しずつガバナー年度を迎える心準備が出来てきました。田村 泰三地区研修リーダーのもとでPETS、地区研修・協議会が滞りなく終え順風漫歩の出航となりました。

ガバナー年度に入り、早速公式訪問が始まるわけですが、副代表幹事はじめ幹事の皆様の協力の中で74クラブを無事訪問することが出来ました。地区内には100名以上のクラブから10名未満のクラブまでありますが、同じルールの中でそれぞれクラブの特色を出し、協力して活動し、ロータリーを楽しんでおられる

姿に感動しました。ただ、少人数のクラブの会員拡大や今後の展望は1クラブの力だけでは描きにくいのではないかと感じました。クラブ訪問に際しての各クラブの温かいおもてなしに心よりお礼申し上げます。

宇部で行なわれた地区大会には多数の会員のご参加を頂き、天候にも恵まれ盛会裏に大会を終えることが出来厚くお礼申し上げます。韓国第3690地区からも多数お越し頂きました。5月に行なわれた第3690地区の地区大会に訪問した折には大変な歓迎を受けました。

ガバナー補佐の皆様にはそれぞれのグループ内各クラブをしっかり訪問していただき纏めて頂きました。各グループのIMもそれぞれ実りあるものとなり深甚なる敬意を表しお礼の気持ちにかえさせていただきます。



地区委員長退任の挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 地区奉仕プロジェクト委員会 委員長 塔野 毅

奉仕プロジェクト委員長を昨年仰せつかり、今まで経験した事のない大役の使命を受けまして、その役目が務まるかどうか不安でありました。前年度奉仕プロジェクト委員長の藤岡様(福山南RC)にご指導いただき、また地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会での藤岡委員長の司会を拝見致しまして、私も最善の努力をしたいと思いました。

地区奉仕プロジェクト委員会は、東ガバナーの地区信条「ロータリーの基本に立ち戻ろう」をふまえ、新たな奉仕活動の研究を行い、実践したいと考えました。2015年5月17日開催の地区研修・協議会の分科会では、以下の方々にパワーポイントを使用して講話や事例紹介をしていただきました。

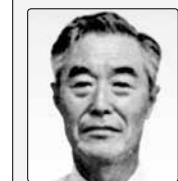
職業奉仕 コンラド・ペーター地区職業奉仕委員長

(宇部東RC)よりロータリーの歴史や職業奉仕の基本等について、流暢な日本語で講話をいただきました。

社会奉仕 若林功地区社会奉仕委員長(宇部西RC)より事例紹介として、宇部市内の寺院でのインターアクトクラブと合同の清掃奉仕作業などを取り上げ、奉仕の喜びを語っていただきました。

国際奉仕 広島西南RCの岩田智博クラブ奉仕プロジェクト委員長より事例紹介として、ベトナムの恵まれない子どもたちへの支援などについて発表していただきました。

最後にカウンセラーの南園義一パストガバナーより講評と助言をいただき、1時間半の間、活発な質疑



退任のご挨拶

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 広報委員会 委員長 徳田 文男

東ガバナーの地区運営方針において、地区重要項目の一つに「RCの公共イメージのアップと認知度の向上」を挙げておられます。ロータリーに対する人々の認識を高め、職業奉仕を始めとする各奉仕活動に、多くの市民の皆様の理解と賛同を得、更には協力・参加を促すのが広報の役割だと思えます。


また昨年10月には、第1～第3ゾーン公共イメージ

コーディネーター3名の連名にて、下記のような依頼(2月末までの期限)があり多くのクラブのご協力を戴きました。即ち、国内各地から、地区内クラブが実施した「奉仕プロジェクト」が紹介された記事を集め、その内容を閲覧できるよう仕組み(アイデアを交換する場所)を構築したので、新聞掲載記事を国内の多くのクラブにとっての参考資料として投稿するよう

もあり有意義なセミナーとなりました。地区委員会並びに発表者の皆様のおかげを持ちまして何とか役目を終える事が出来たことを、感謝申し上げます。

す。又東ガバナーのご指名を受け有意義な経験をさせて頂きました事に心より御礼を申し上げたいと思います。

国際ロータリー第2710地区 2015-16年度 74RCの会員増減・出席率 2016年5月度




米山奨学会活動 ～一年を振り返って

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会 委員長 浅山 琢也

地区米山奨学会委員長を委嘱されて2年を経過しましたが、貴重な経験をさせていただいたと思っています。東ガバナー年度の責務を果たす上で、本部での再度のセミナーと仲達吉晴前年度委員長に教わったことが参考となりました。また、過去2度のカウンセラー経験も役立ちました。地区米山奨学会活動は、日本の学制に従い4月から新学期が始まるためロータリー年度まで奨学生選考試験はじめ歓送会、新入生オリエンテーションと行事が続く、多少戸惑いがありました。7月に日本の文化を学ぶ研修旅行で姫路城と円教寺を訪れ、神戸の防災センターやインスタントラーメンセンターを見学しましたが、米山奨学生・学友・ロータリアンが交流し親睦を深めることができました。また、各クラブでは花火大会・家族会・クリスマス会・

歓送会などで奨学生との交流に努めていただきましたが、米山奨学生を通じてロータリーが目指す国際親善と世界平和に繋がると信じます。2710地区の山陰側には受入れ施設が少ない為、奨学生とは無縁のクラブがいくつかあります。指定校選定委員会で2016年度より萩市の専門学校さくら国際言語学院を指定校に加えることにしました。公益性を重視する奨学生選考試験は書類選考に続き面接をしますが、採用人数が年々減少傾向にあり、優秀な学生の半数しか採用できず、関係者は難儀をします。寄付額で採用人数が決まります。今年度は一人16,000円ですが、目標額には達しません。この点、委員長の広報不足と反省しております。次年度委員長を補佐し残り1年を無事終えるよう努めたいと存じます。



ロータリー財団委員会報告（一年を振り返って）

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員長委員会 委員長 伊賀 訓之

2017年にロータリー財団は100周年を迎えます。各クラブの会長様をはじめ関係者の皆様方には各補助金管理セミナーまたガバナー補佐の主催によるグループ別財団勉強会にご出席頂きましてありがとうございました。

られ、これらのことを実現することを目指して努力してまいりましたが、いまだ実行が伴わない内に2016-17年度のRI会長エレクトと財団管理委員長エレクトは共同で2016-17年度のロータリー全体の目標を定めました。

2016-17年度に実施の地区補助金は18クラブから申請があり、全クラブがロータリー財団の使命に沿ったものが申請され全部合格いたしました。

これらの目標を実現するにあたっては、RIの2015-16年度目標を参考にするとともにロータリー財団管理委員会が承認した財団の3カ年優先項目と具体的目標を取り込まなければなりません。このようにRIもロータリー財団も社会の変化に適合して前進するため

各クラブのロータリアンの皆様は財団の知識、参加、寄付といった財団の活動を支持していただいているものと信じ、あわせてプロジェクトの成功を祈っています。

少しずつ変化しているようです。第2710地区のロータリアンの皆様には言葉に言い尽くせぬご協力をいただきながら2015-16年度東良輝ガバナー年度を終えることが出来たことを心から感謝申し上げます。今後ともロータリー財団をよろしく願います。

2015年の7月1日から3年間のRIの3つの戦略計画「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」を支えるためにロータリー財団の4つの優先項目と具体的目標が定め

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		増減
						末日	内女性	入会者	退会者	
グループ1	長 門	4	87.23	88.14	27	28	5	3	2	1
	下 関	4	72.55	81.36	47	51	1	8	4	4
	下関中央	3	74.44	82.74	29	31	6	2	0	2
	下関東	3	79.73	83.22	59	59	2	2	2	0
	下関北	3	92.2	91.86	42	43	0	2	1	1
	下関西	3	82.68	84.13	35	37	1	2	0	2
	油谷湾	3	95.24	90.86	7	6	0	0	1	-1
	計		83.44	86.04	246	255	15	19	10	9
	萩	3	93.03	95.85	55	57	0	5	3	2
	萩 東	3	100	100	20	21	1	2	1	1
グループ2	美 祿	4	82.76	81.15	23	23	0	3	3	0
	小野田	3	81.47	84.3	40	35	2	3	8	-5
	宇 部	3	96.12	94.34	46	46	3	4	4	0
	宇部東	3	66.02	68.86	14	15	2	2	1	1
	宇部西	4	93.91	91.1	52	55	3	4	1	3
計		87.62	87.94	250	252	11	23	21	2	
グループ3	防 府	3	95.6	98.2	51	55	0	9	5	4
	防府北	3	85.19	87.31	18	19	2	1	0	1
	防府南	3	100	100	36	35	7	2	3	-1
	山 口	3	90.33	93.22	52	53	3	5	4	1
	山口県央	4	94.2	95.76	37	35	1	1	3	-2
	山口南	3	94.16	92.42	41	42	4	2	1	1
計		93.25	94.48	235	239	17	20	16	4	
グループ4	光	4	95.84	95.43	41	47	0	7	1	6
	周南西	3	92.53	95.99	47	45	3	2	4	-2
	徳 山	3	95.74	96.91	50	50	1	5	5	0
	徳山中央	4	85.84	92.89	29	30	0	1	0	1
徳山東	3	92.72	95.3	51	52	0	1	0	1	
計		92.53	95.3	218	224	4	16	10	6	
グループ5	岩 国	3	75.67	77.59	64	64	0	5	5	0
	岩国中央	3	91.4	89.26	39	43	3	5	1	4
	岩国西	3	90.81	87.44	54	59	4	8	3	5
	柳 井	4	100	100	32	33	2	6	5	1
柳井西	3	96.15	96.77	27	28	2	3	2	1	
計		90.81	90.21	216	227	11	27	16	11	
グループ6	広 島	4	98.73	99.54	115	123	1	20	12	8
	広島安芸	4	94.77	96.44	37	39	2	2	0	2
	広島安佐	3	88.89	93	21	24	1	3	0	3
	広島東	3	98.94	99.17	97	100	6	9	6	3
	広島北	3	100	99.97	85	87	0	7	5	2
	広島陵北	3	97.36	97.47	52	53	3	4	3	1
大 竹	4	85.61	88.49	33	34	0	1	0	1	
計		94.9	96.3	440	460	13	46	26	20	

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		増減
						末日	内女性	入会者	退会者	
グループ7	広島中央	4	100	100	74	78	7	6	2	4
	広島廿日市	4	89.59	88.78	35	36	1	1	0	1
	広島城南	3	100	99.27	57	56	2	2	3	-1
	広島南	3	99.19	99.61	88	89	0	7	6	1
	広島東南	4	100	100	90	96	11	7	1	6
	広島西南	4	100	100	62	66	4	5	1	4
	広島西	3	100	100	74	87	0	15	2	13
	計		98.4	98.24	480	508	25	43	15	28
	江田島	3	92.16	88.86	16	17	1	4	3	1
	東広島	4	98.48	98.55	30	33	3	3	0	3
グループ8	東広島21	4	76.39	83.24	17	18	3	2	1	1
	呉	3	91.73	90.37	72	70	1	5	7	-2
	呉 東	3	94.8	95.12	31	32	0	3	2	1
	呉 南	3	88.01	91.89	54	57	3	3	0	3
	西 条	3	100	99.9	39	40	2	6	5	1
	計		91.65	92.56	259	267	13	26	18	8
	広島空港	2	85.42	85.21	22	24	2	2	0	2
	因 島	3	94.74	89.28	21	20	0	0	1	-1
グループ9	三 原	4	86.67	89.48	63	61	1	0	2	-2
	尾 道	3	82.83	83.23	78	79	2	7	6	1
	尾道東	4	92.06	91.08	51	51	1	1	1	0
	瀬戸田	2	87.5	87.5	7	7	0	0	0	0
	竹 原	3	95.24	90.96	37	36	4	4	5	-1
	計		89.21	88.11	279	278	10	14	15	-1
	府 中	3	84	90.35	30	29	0	0	1	-1
グループ10	福 山	4	94.93	95.49	81	79	0	7	9	-2
	福山東	3	85.13	88.92	50	51	3	2	1	1
	福山丸之内	4	91.16	94.77	33	33	1	0	0	0
	福山の浦	4	83.33	84.48	23	25	0	2	0	2
	福山REC2710	4	100	100	24	23	2	1	2	-1
	計		89.76	92.33	241	240	6	12	13	-1
グループ11	福山赤坂	4	79.25	79.45	40	46	6	7	1	6
	福山北	3	89.92	91	48	45	0	1	4	-3
	福山南	3	85.08	86.97	58	59	2	3	2	1
	福山西	4	92.94	95.03	45	46	3	2	1	1
松 永	3	87.82	89.52	51	52	2	1	0	1	
計		87	88.39	242	248	13	14	8	6	
グループ12	吉 舎	4	97.06	97.17	18	18	0	0	0	0
	三 次	3	83.56	85.56	41	42	0	5	4	1
	三次中央	4	95.05	91.13	42	41	5	2	3	-1
	庄 原	3	90.19	88.05	34	36	4	3	1	2
	東 城	3	87.3	90.98	21	21	1	0	0	0
	計		90.63	90.58	156	158	10	10	8	2
第2710地区計		90.59	91.58	3262	3356	148	270	176	94	



新会員紹介

 安藤 稔 下関RC 2016年5月23日 証券業	 岩田 和久 下関RC 2016年5月30日 中央銀行	 林 一徳 下関西RC 2016年5月18日 製缶	 西村 浩介 美祿RC 2016年5月10日 電子部品製造販売	 清水 幸男 宇部RC 2016年6月2日 証券業	 山門 伸吉 宇部東RC 2016年4月27日 商業銀行	 川村 明 宇部東RC 2016年5月18日 外科医	 石田 直樹 防府RC 2016年5月10日 貯蓄銀行	 渡辺 一朗 山口県央RC 2016年5月10日 地方銀行
 古本 武男 山口県央RC 2016年6月7日 弁護士	 蔭山 弘行 徳山RC 2016年4月21日 証券業	 拙島 聡 徳山RC 2016年4月28日 貨物運輸	 白石 哲也 岩国西RC 2016年5月13日 材木加工	 岡本 賢 広島RC 2016年4月12日 内科医	 鶴野 徳文 広島RC 2016年5月17日 自動車部品製造	 平原 敏行 広島東RC 2016年5月11日 電気通信事業	 村尾 俊彦 広島東RC 2016年5月18日 酒類配布	 中川 良浩 広島北RC 2016年5月26日 和菓子販売
 古川 善也 広島中央RC 2016年6月6日 病院	 赤川 浩二 広島東南RC 2016年5月9日 自動車排気系部品製造	 渡邊 直樹 広島東南RC 2016年5月16日 弁護士	 岡本 倫明 広島西南RC 2016年5月17日 税理士	 石山 成之 広島西RC 2016年5月12日 仏教	 北村 和之 広島西RC 2016年5月12日 産業機械製造	 沖田 康孝 呉RC 2016年5月12日 ガス供給	 徳永 博 呉RC 2016年5月12日 信用金庫	 番場 真吾 呉RC 2016年5月12日 新聞
 三木 乃慈子 西条RC 2016年6月2日 消化器内科医	 小川 実 福山RC 2016年5月23日 商業銀行	 中井 幹夫 三次RC 2016年4月21日 新聞発行	 柳田 剛 三次RC 2016年4月21日 第一地銀	 鳴石 哲也 庄原RC 2016年4月16日 自動車販売	 加治 聡英 庄原RC 2016年4月26日 建築業	<p>謹んで追悼の意を表します</p>  <p>下関西RC 故 胡 博興 殿 2016年6月5日ご逝去(享年74歳) ■ロータリー歴 2000-01年度 クラブ会長 2011-12年度 グループ1 ガバナー補佐 ポール・ハリス・フェロー ■職業分類 管工事</p>		

1年を終えようとする中で

月信編集長 脇 和也

まさに光陰矢のごとしで、私のガバナー月信編集長としての役割も間もなく終わろうとしています。つたない仕事ぶりではありましたが、心掛けたことがあったとすれば「不易流行」です。月信を引き継ぐに当たって代々のガバナーが工夫を重ねて編まれてきた月信誌面のよさはそのままに、しかし、一人でも多くの会員に目を通してもらうためには時々の社会の流れに沿った新しさも加味しなければなりません。それでこそ末永く月信が地区のロータリアンの重要な情報源となり続けるものと考えました。もっとも新しさを考える前に、毎月の月信の主題である「月間」が2015年度以降、大幅に変わってしまいました。結果としてその流れに合わせることで12カ月が過ぎようとしています。この間、改めて教えられたのは「ロータリーにはノーはない」ことでした。月間の変化に原稿を執筆していただくパストガバナーも例年通りとはいかず無理をお願いしましたが、全員が即座に快く引き受けて下さいました。ここに改めて感謝する次第です。感謝といえば、紙面作りから発行までを担ってもらった事務局の布施さん、瞬報社の川本さん、それに委員会のメンバーには本当にお世話になりました。ありがとうございました。